

倉田秋郎 くらた あきお 俳人。明治二年上野國群馬郡中室田生れ、大正十五年六月一日没（八六一九六）。本名秋三郎。別號秋莊。俳人久保篤曉の三男、前橋の茶舗に養ふことなる。松村琴莊に師事して漢詩を作り、傍ら秋聲會の俳誌や新聞『日本』に投句。明治二十年同好と俳句結社いなのりの會を興し、會の執筆を東京のロホトイギスに送り、高濱虚子の選を受けたり。晩年事業に失敗、貧窮の中にあたり。

『秋郎俳句帳』全二冊（昭和十五年六月）は倉田遺文叢刊（一）にある。